

特産品（お茶）の品質向上等によるブランド力の再生

【令和3年度補正】

みんなでつくる「新・古内茶」（特産品を高付加価値化した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

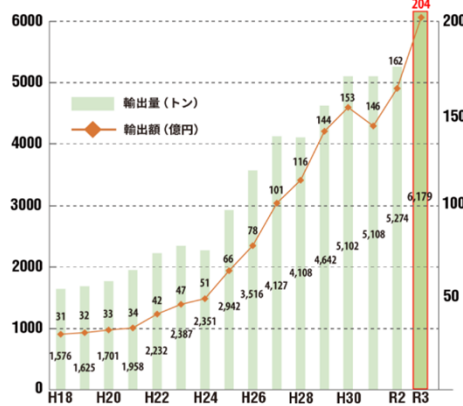
【地区名】 ふるうち 古内地区（茨城県城里町）

【現況】

- ・古内茶は茨城三大銘茶として歴史を有する一方、近年は収益性の低さから生産基盤が弱体化。
- ・品質及び認知度の向上等によるブランド力の再生が必要。

① 海外輸出に向けた市場調査

緑茶の輸出が増加傾向にあることから、海外市場を見据えた商談を実施



①【参考】緑茶の輸出実績(世界)

② 講習会の開催

高品質茶葉の栽培及び加工技術を学ぶため、組合員向けに専門講師による講習会を開催



②講習会の様子

③ 商品展開の拡充

茶葉の特性を生かして、緑茶だけでなく和紅茶としても加工・販売することで多様な消費者ニーズに対応し、海外輸出の促進及び国内における販路を拡大



③古内茶と和紅茶

取組の成果

令和6年度の古内茶の販売額は1,980千円となっており、現況値の368千円から販売額が大幅に増加（438%増）している。

現況値(R4)

368千円

目標値(R6)

428千円

実績値(R6)

1,980千円